

厚生労働行政推進調査事業費補助金

がん対策推進総合研究事業

小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビ
デンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）
と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
(21EA2004)

令和5年度 総括・分担研究報告書

研究代表者 鈴木 直

令和6(2024)年5月

目 次

I. 総括研究報告書

小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して

鈴木 直 1

資料

①-01 8

II. 研究成果の刊行に関する一覧表 12

厚生労働行政推進調査事業費補助金（がん対策推進総合研究事業）

総括研究報告書

小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して

鈴木 直 聖マリアンナ医科大学 主任教授

小児・AYA世代がん等の患者の妊孕能（生殖機能）が、がん治療によって低下又は喪失する場合があります。本邦では、がん・生殖医療領域に特化した唯一の学術団体である日本がん・生殖医療研究会（現一般社団法人学会）が2012年に設立され、2014年以降、厚生労働省科学研究費研究班と共同で、(1) 全国のがん・生殖医療ネットワークの構築、(2) がん・生殖医療に関わる人材育成（認定がん・生殖医療ナビゲーター制度やがん・生殖医療専門心理士認定制度の構築等）、を通じて本領域の均てん化を推進してきた。さらに、がん・生殖医療の二つのアウトカム（がん側と生殖側）を検証することによって、患者の命を守り（安全性）かつ技術革新（有効性）を図るための登録制度（日本がん・生殖医療登録システム（JOFR: Japan Oncofertility Registry））を2018年に構築した。一方、日本癌治療学会が本領域の診療ガイドラインを2017年に刊行して以来、地方自治体によるがん治療と妊孕性温存療法に要する費用が経済的な負担となる患者に対する妊孕性温存療法への経済的支援が進み、2021年4月から公的な研究促進事業としての経済的支援（小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業）が開始された。そして、2022年4月からは新たに、温存後生殖補助医療に対する経済的支援が追加された。

令和5年（2023）年度は以下の3つの研究を実行した；研究① 国の小児・AYA世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の円滑な牽引と国民への周知、研究② 日本産科婦人科学会又日本泌尿器科学会、日本がん・生殖医療学会と連携して、本事業に参加する各々の学会が認定する認定施設（学会認定施設）の本事業協力施設認定、研究③ 日本がん・生殖医療学会が進める国の委託事業（JOFR、FSリンク等）に関連する研究。

研究分担者

森重 健一郎（地方独立行政法人大阪府立病院
機構大阪急性期）
高井 泰（埼玉医科大学）
古井 辰郎（東海国立大学機構岐阜大学）
小野 政徳（東京医科大学）
渡邊 知映（学校法人昭和大学）
湯村 寧（横浜市立大学）
清水 千佳子（国立研究開発法人国立国際医療研
究センター）
片岡 伸介（国立大学法人東海国立大学機構）

宮地 充（京都府立医科大学）
山本哲哉（横浜市立大学）
中山 タラント ロバート（慶應義塾大学）
中島 貴子（京都大学）
藤井 伸治（岡山大学）
菊地 栄次（聖マリアンナ医科大学）
梶山 広明（名古屋大学）
堀江 昭史（京都大学）
原田 美由紀（東京大学）
真部 淳（国立大学法人北海道大学）
安岡 稔晃（愛媛大学医学部附属病院）

桂木 真司 (宮崎大学)
銘苺 桂子 (琉球大学病院)
前沢 忠志 (三重大学)
洞下 由記 (聖マリアンナ医科大学)
前田 尚子 (国立病院機構名古屋医療センター)
寺下 友佳代 (国立大学法人北海道大学)

A. 研究目的

本邦のがん・生殖医療における安全性 (がん医療側のアウトカム) と有効性 (生殖医療側のアウトカム) に繋がるエビデンスの集積、適切な長期検体保存体制の検証ならびに構築、がん・生殖医療に係わる全国の医療機関の医療の質向上を目的とする。

B. 研究方法

研究① 国の小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の円滑な牽引と国民への周知: 1) 研究班の website の「妊孕性温存実施施設 (研究協力施設) を探す」 (<http://outcome2021.org/>) のページの更新業務を実施する。2) 研究班参加施設の認定事業を実施する。

研究② 日本産科婦人科学会又日本泌尿器科学会、日本がん・生殖医療学会と連携して、本事業に参加する各々の学会が認定する認定施設 (学会認定施設) の本事業協力施設認定: 1) 日本産科婦人科学会臨床倫理監理委員会のがん・生殖医療施設認定小委員会

(https://www.jsog.or.jp/modules/committee/index.php?content_id=186)

2) 日本泌尿器科学会 (<https://www.urol.or.jp/society/cryopreservation/>)、3) 日本がん・生殖医療学会 JOFR 管理運営委員会 (<http://www.jsfp.org/about/registry.html>) と連携し、本研究促進事業に参加する施設情報を共有する。そして、適宜「妊孕性温存実施施設 (研究協力施設) を探す」 (<http://outcome2021.org/>) のページの

更新を行う。

研究③ 日本がん・生殖医療学会が進める国の委託事業 (JOFR、FS リンク等) に関連する研究: 以下の二つの研究を実行する。

研究③-1 妊孕性温存に係る治療費 (カウンセリングと維持費を含む) 並びに温存後生殖補助医療等に係る治療費等の調査研究: 小児・AYA 世代がん等の患者の妊孕能 (生殖機能) が、がん等の治療によって低下又は喪失する場合がある。このため小児・思春期・若年成人患者の妊孕性温存やその後の生殖補助医療の重要性が認識されつつある。本邦では、国と地方自治体によるがん治療と妊孕性温存療法に要する費用が経済的負担となる患者に対する妊孕性温存療法への経済的支援が普及し、2021 年 4 月から公的な研究促進事業としての経済的支援 (小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業) が開始された。そして、2022 年 4 月から新たに温存後生殖補助医療に対する経済的支援が追加された。

他方、医療における費用対効果という点を評価することは、必要な患者に適切な経済的支援を提供するために重要である。このような背景の元、妊孕性温存療法ならびに温存後生殖補助医療認定施設に対する患者支払い額の医療費調査を行うことで、本邦における適切な妊孕性温存療法への助成を把握し、本医療を持続可能な形で継続させる目的で本研究を行った。

小児・AYA 世代がん患者等に対する妊孕性温存療法研究促進事業に参加する、日本産科婦人科学会と日本泌尿器科学会の認定施設に調査票を郵送配布し、妊孕性温存療法及び温存後生殖補助医療にかかる患者支払い額を調査した。主要評価項目は、施設における受精胚・未受精卵子、卵巣組織、精子等の凍結保存、保存維持および温存後生殖補助医療に係る初診料・再診料、処方料、院外処方薬料なども含めた患者負担料金とした。又、副次評価項目は、妊孕性温存療法および温存後生殖

補助医療への公的助成の妥当性とした。

研究③-2 43 歳以上の妊娠・分娩転帰に関する研究：本研究は、2022 年度より、わが国において生殖補助医療の保険適用が開始された。それに伴い小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の一環として、温存後生殖補助医療についても経済的支援が開始された。保険適用の対象となる治療や温存後生殖補助医療の治療にはいずれも年齢や回数の制限が設けられており、治療開始時点の女性の年齢によって、①40 歳未満：子ども 1 人につき最大 6 回の胚移植まで、②40 歳以上 43 歳未満：子ども 1 人につき最大 3 回の胚移植まで、と定められている。保険適用による凍結胚の保存や妊孕性温存後生殖補助医療が普及し、今後は 40 歳前後で凍結保存した胚を用いて 43 歳以上で妊娠・出産する例が増加することが考えられる。そのため、本研究では 43 歳以上の凍結融解胚移植による妊娠の周産期転帰を明らかにすることを目的とする。対象と方法は、日本産科婦人科学会 ART 登録事業データベースより 2016 年 1 月～2019 年 12 月までの間に 43 歳以上で凍結融解胚移植によって妊娠し、妊娠 22 週以降の分娩に至った単胎症例を抽出し対象とした。一方、日本産科婦人科学会の周産期登録データベースを用いて、同期間に自然妊娠または non-ART 妊娠し妊娠 22 週以降の分娩に至った 43 歳以上の単胎症例を対照群とした。凍結融解胚移植妊娠（FET 群）4,828 名、自然妊娠/non-ART 妊娠（NA 群）11,191 名において、NA 群を基準とし FET 群の各周産期転帰との関連をロジスティック回帰分析で解析した。

研究③-3 FS リンクを含む国の本研究促進事業に関する小児がん治療医の意識調査研究：2021 年 4 月より、がん治療前の妊孕性温存療法ならびに温存後生殖補助医療に対する助成事業（以下本事業）が開始された。本事業はエビデンス創出のための研究という側面があり、専用アプリを用いて年 1 回、患者から臨床情報等のデータ収集

を行う。小児患者の場合、妊孕性温存実施時には保護者の同意により専用アプリの使用が開始されるが、患児が 16-18 歳になる頃にアプリの引継ぎを行い、18 歳に達した時点で研究に対する書面または電磁的同意を取得する必要がある。専用アプリの引継ぎには、生殖医療担当者のみならず小児がん治療医の協力があることが望ましいと考えられる。そこで本事業と研究の説明同意に関する小児がん治療医の意識調査を実施した。意識調査期間の期間は、2023 年 10 月 5 日から 10 月 31 日とし、対象は日本小児血液・がん学会会員医師に対して、Web アンケート調査を行った。

（倫理面への配慮）

研究③-1 は、東京医科大学病院倫理委員会により承認（T2023-0129 号）を受けて倫理面に配慮して研究を進めた。

研究③-2 は、愛媛大学医学部附属病院倫理委員会により承認（2207009 号）を受けて倫理面に配慮して研究を進めた。

C. 研究結果

研究① 国の小児・AYA 世代のがん患者等の妊孕性温存療法研究促進事業の円滑な牽引と国民への周知：1) 研究班の website の「妊孕性温存実施施設（研究協力施設）を探す」

（<http://outcome2021.org/>）のページの更新業務を行った。2) 研究班参加施設の認定事業を実施した。本年度は、13 施設を新たに研究班参加施設として認定した、参加施設は計 190 施設となった（資料①-01）。なお、日本産科婦人科学会、日本泌尿器科学会並びに日本がん・生殖医療学会と、本研究班の協力施設に関する情報を共有した。

研究② 日本産科婦人科学会又日本泌尿器科学会、日本がん・生殖医療学会と連携して、本事業に参加する各々の学会が認定する認定施設（学会

認定施設) の本事業協力施設認定：日本産科婦人科学会臨床倫理監視委員会のがん・生殖医療施設認定小委員会、2) 日本泌尿器科学会、3) 日本がん・生殖医療学会 JOFR 管理運営委員会と連携し、本研究促進事業に参加する施設情報を共有した。又、「妊孕性温存実施施設 (研究協力施設) を探す」(<http://outcome2021.org/>) のページの更新を行った。

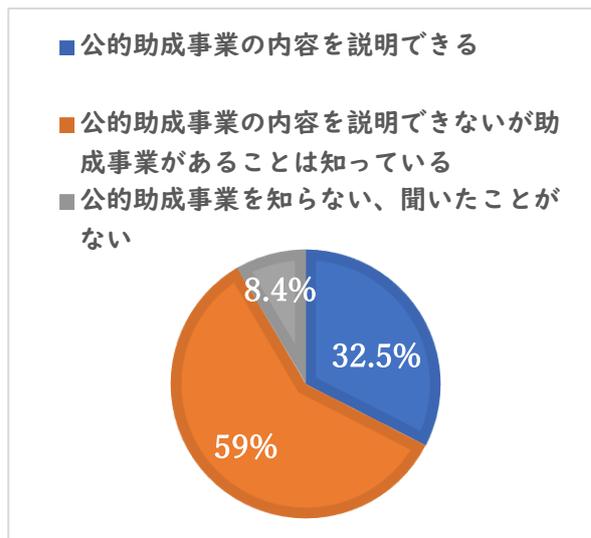
研究③-1 妊孕性温存に係る治療費 (カウンセリングと維持費を含む) 並びに温存後生殖補助医療等に係る治療費等の調査研究：全国 186 施設中 140 施設から回答を得た (回答率：75.3%)。本邦では、妊孕性温存とそれに続く生殖補助医療にかかる費用は保険適用外であるが、一定の条件を満たせば、患者は助成金を申請することができる。現在、妊孕性温存とそれに続く生殖補助医療にかかる費用、および患者が支払う金額は施設によって異なっている。各々の医療項目の費用の中央値では約 2/3 が助成で賄われ、約 1/3 は患者自身の負担する額となっていた。

研究③-2 43 歳以上の妊娠・分娩転帰に関する研究：FET 群の周産期アウトカムにおける調整済みオッズ比は、正期産低出生体重児：0.60 [95% CI: 0.52-0.69]、37 週未満の早産：0.68 [95% CI: 0.61-0.77]、死産：0.32 [95% CI: 0.19-0.51]、妊娠高血圧症候群：0.65 [95% CI: 0.57-0.73]、妊娠糖尿病：0.54 [95% CI: 0.48-0.61]、常位胎盤早期剥離：0.15 [95% CI: 0.08-0.25]、前置胎盤：0.57 [95% CI: 0.43-0.75]と有意な負の関連を認めた。

研究③-3 FS リンクを含む国の本研究促進事業に関する小児がん治療医の意識調査研究：249 名より回答があった。249 名中 160 名が長期フォローアップ(LTFU)外来診療に従事していた。

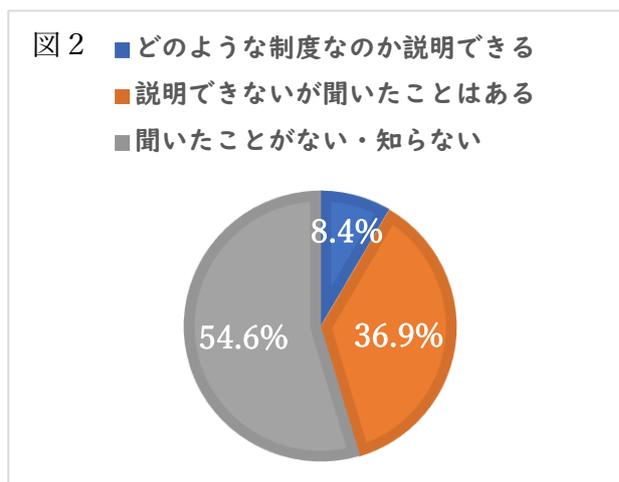
1) 本事業の認知度

249 人中 228 人 (91.6%) が知っている と回答したが、21 人 (8.4%) は知らない と回答した (図 1)。



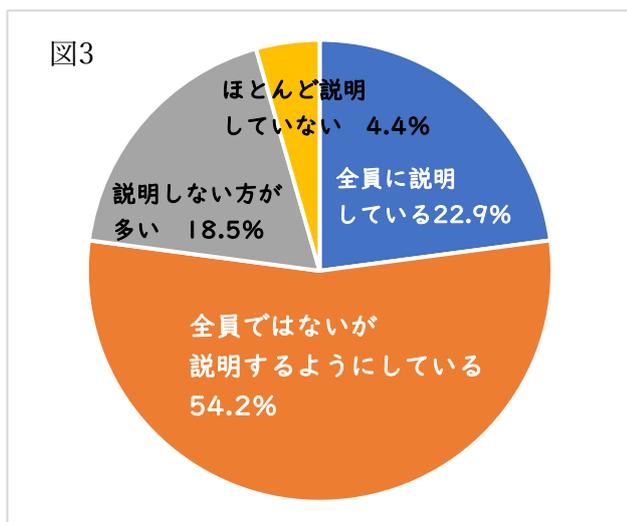
2) 妊孕性温存実施施設による登録制度、専用アプリ「FS リンク」の認知度

249 人中 113 人 (45.4%) が認知していたが、54.6% は知らない と回答した (図 2)。



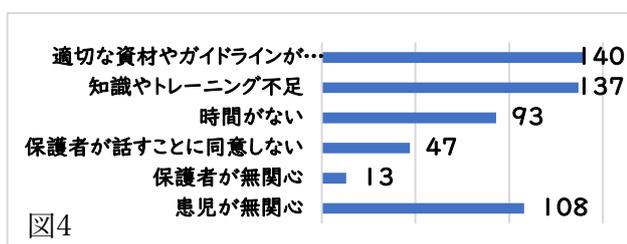
3) 患児に対する「性、生殖」に関する情報提供

249 人中 192 人 (77.1%) が全員またはなるべく多くの患児に説明していると回答した。説明しない場合が多いと回答したのは 46 人、ほとんど説明していないと回答したのは 11 人であった (図 3)。



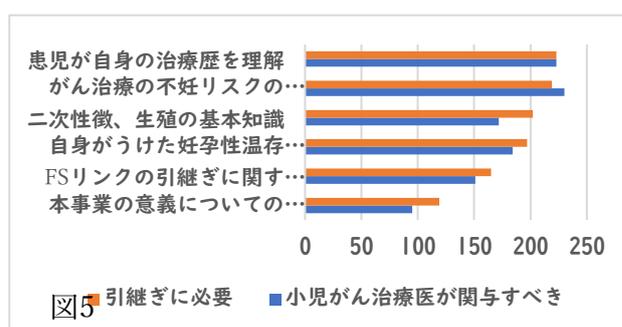
4) 性、生殖について説明する際の困難と障壁

249 人中 42 人 (14.1%) が大いに困難、172 人 (69.1%) が少し困難であると回答、全く困難ではないとしたのは 35 人 (16.9%) であった。患児への説明の障壁として、①適切な資材やガイドラインがない、②知識やトレーニング不足、③患児が無関心である、④時間がない、などが挙げられた (図 4)。



5) 専用アプリ引継ぎへの準備とがん治療医の関与についての考え

専用アプリ引継ぎのために必要なこととして、①治療歴の理解、②がん治療による不妊リスク、③性、生殖に関する基本的知識、④患児自身が受けた妊孕性温存療法については回答者の多くが同意し、小児がん治療医が関与すべきと考えていたが、「患児がアプリ引継ぎについて理解すること」は約 60%、「患児が本事業の意義について理解すること」は半数以下が関与すべきと答えるにとどまった (図 5)。



6) 希望する説明用資材

小児がん治療医向け、患児本人や保護者向けの説明用資材を希望するとの回答が多かった。紙媒体と動画とでは、紙媒体を希望する者が多かった。

D. 考察

研究③-1 妊孕性温存に係る治療費 (カウンセリングと維持費を含む) 並びに温存後生殖補助医療等に係る治療費等の調査研究: 現在、妊孕性温存やその後の生殖補助医療にかかる患者支払い額は施設毎に異なっており、患者が関連費用のために必要な医療へのアクセスが出来ない自体を回避することが重要である。さらに、患者と医療施設にとって本医療を継続可能な価格設定と保険適用が、患者と施設の双方にとって重要であると考えられた。

研究③-2 43 歳以上の妊娠・分娩転帰に関する研究: ART による妊娠は、周産期リスクが高いことが知られている。我が国のエコチル調査においても、ART 妊娠女性では、自然妊娠群と比べて前置胎盤、癒着胎盤、帝王切開、輸血、ICU 管理、早産のリスクが高い (Nagata C, et al. BMC Pregnancy Childbirth. 2019)。又、それらは海外においても複数の systematic review / meta-analysis で報告されている。しかし、本研究において 43 歳以上の FET 群に限って解析すると、周産期登録データベースを対照群とした場合、FET 群で低出生体重児、早産、死産、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、前置胎盤の調整オッズ比は有意に小さかった。43 歳という年齢の基準は、わが国の制度上の問題であるが、我々の知る限り高齢女性の凍結融解胚移

植における周産期アウトカムを non-ART 妊娠と比較した研究はない。本研究結果を支持する高齢妊娠についての先行研究として、本研究に使用したデータベースと同じである、日本産科婦人科学会の周産期データベースを使用した Ogawa らの研究がある (Ogawa K et al. BMC Pregnancy Childbirth. 2017)。それによると、母体年齢が高いと、若い女性に比べて、特に帝王切開、妊娠高血圧腎症、重症妊娠高血圧腎症、前置胎盤などの母体合併症について、出産時の有害事象のリスクが高いことを示している。しかしその研究において特筆すべきは、緊急帝王切開、重症妊娠高血圧腎症、早産のリスクに対する高齢の影響は、ART 妊娠に比べて自然妊娠した女性で有意に大きくなった、ということである。さらに、妊娠方法や出産経験の有無によって、年齢の上昇に伴う周産期アウトカムが異なることが示されている。

本研究にはいくつかの限界がある。まず、前述の妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病などの妊娠合併症の結果に影響を与えると考えられる社会経済的地位、妊娠分娩歴、肥満度 (BMI)、喫煙習慣、飲酒、不妊期間、不妊の原因、妊娠前の合併症などの患者特性は、データベースの精度に限界があるため、本研究ではこれらのパラメータを検討することはできなかった。又、周産期登録データベースは、日本の全出生数の約 10 分の 1 を含むデータベースで、43 歳以上分娩では約 3 分の 1 が含まれている。周産期登録データベース専攻医指導施設による入力であり、一般集団よりはリスクの高い集団である可能性が高い。そのため、43 歳以上の分娩した女性においても、特にリスクの高い集団であった可能性が高い。さらに、ART 登録データベースは、合併症の入力が少ないことが問題点として挙げられる。今回収集したデータベースでは、合併症の入力が自由記載であった。反対に、周産期データベースは選択式の入力方法であり、入力率に差がある可能性がある。また、分娩週数不明が約 200 例 (4%) あり除外した。これは少数であるため、解析

結果の影響は許容範囲と考えている。さらに、ART 登録データベースでの大きな弱点としては、初産/経産データが 7 割以上欠損していることが挙げられ、そのため初回の帝王切開率については、解析を断念した。BMI も 7 割もデータが欠損しているため、BMI による検討ができなかった。

研究③-3 FS リンクを含む国の本研究促進事業に関する小児がん治療医の意識調査研究：小児がん治療医の多くは本事業の存在を知っていたが、助成金を受けるための「研究参加」とそのシステムについての認知度は低かった。又、回答者の 2/3 は LTFU 外来診療に従事しており、妊孕性をはじめとする晩期合併症に関する関心が高い層であると推定されるが、そうした医師においても専用アプリを利用した研究について半数以上が知らなかった。今回の結果からは、小児がん治療に携わる医療者全体としては、未だ本事業や研究についての認知度はそれほど高くはないと考えられる。

E. 結論

本厚労科研研究班が本研究促進事業を牽引することで、本邦における小児・AYA 世代がん患者等に対する妊孕性温存療法に係る研究促進事業により収集した臨床データ等を解析し、本邦におけるがん・生殖医療における安全性 (がん医療側のアウトカム) と有効性 (生殖医療側のアウトカム) に繋がるエビデンスの集積が完遂されることになる。さらに、10 年を超える長期におよぶ検体保管と経過観察によって本邦のエビデンスが JOFR に集積されることによって、適切な長期検体保存体制の検証ならびに構築に繋がる。その結果、「小児、思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン」の質の向上と、「長期にかかる妊孕性温存検体保存のガイドライン」の作成に繋がり、最終的にがん・生殖医療に係わる全国の医療機関の医療の質向上に資することが期待される。なお、研究促進事業としては、「がん・生殖医療における妊孕性温存療法 (精子凍結保存 (TESE を含む)、未

受精卵子凍結保存、胚（受精卵）凍結保存、卵巣組織凍結保存）に関するエビデンス創出」がその目的となっているが、本研究班が臨床データを利用した研究を行うものではない。令和6（2024）年度以降は、JOFRの臨床データを用いた研究を遂行する。

以下に研究③-1、③-2そして③-3に関する、研究成果の結論を記す。

研究③-1 妊孕性温存に係る治療費（カウンセリングと維持費を含む）並びに温存後生殖補助医療等に係る治療費等の調査研究：本邦において小児・AYA世代がん等の患者の妊孕性温存ならびにその後の生殖補助医療に関連する費用の約3分の2が公的助成であり、残りの約3分の1が患者負担であることを明らかになった。現在、患者負担額は生殖医療施設によって異なるが、本医療を必要とする患者の医療へのアクセスを確保するためには、費用均等化、助成の継続ならびに保険適用の導入が望まれる。

研究③-2 43歳以上の妊娠・分娩転帰に関する研究：43歳以上の凍結融解胚移植妊娠は、周産期転帰の観点ではNA群と比べリスクは高くない可能性が示唆された。凍結融解胚を移植する際に、その女性が43歳以上であっても、またさらに、がんサバイバーであっても、本研究結果をカウンセリングの際に情報提供できると考える。ただし、がん治療による周産期アウトカムへの影響は、今後の長期的な研究が必要である。

研究③-3 FSリンクを含む国の本研究促進事業に関する小児がん治療医の意識調査研究：小児がん治療に携わる医療者に対して、本事業ならびにエビデンス構築のための研究について、さらに啓発を行う必要があると考えられた。

周知方法として講演会、パンフレットの作成・配布を実施していく方針とした。そこで、年度内に「エビデンス創出のためのePRO-患者アプリ「FSリンク」における小児がん治療医の関わり」（日本小児がん研究グループ、厚生労働省がん対策推進

総合研究事業鈴木班共催 JCCG会員向けセミナー）を令和6（2024）年3月26日にWeb開催した。

F. 健康危険情報

特記すべき事項なし

G. 研究発表

1. 論文発表

前田尚子. 小児がん患者におけるがん・生殖医療の現状と課題, 癌と化学療法, 50巻12号, 1264-1268, 2023

2. 学会発表

安岡稔晃, 鈴木直, 杉山 隆. 凍結融解胚移植により43歳以上で妊娠した女性の周産期予後～日本産科婦人科学会のデータベースを用いた調査研究～, 第68回日本生殖医学会学術講演会, 2023.11.10, 金沢市

前田尚子. エビデンス創出のためのePRO-患者アプリ「FSリンク」における小児がん治療医の関わり 日本小児がん研究グループ、厚生労働省がん対策推進総合研究事業鈴木班共催 JCCG会員向けセミナー 2024.3.26 Web開催にて

H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む。）

1. 特許取得

無し

2. 実用新案登録

無し

3. その他

特記すべき事項なし

NO.	都道府県	医療機関名
1	北海道	手稲溪仁会病院
2	北海道	国家公務員共済組合連合会 斗南病院
3	北海道	医療法人社団 神谷レディースクリニック
4	北海道	JA北海道厚生連 札幌厚生病院
5	北海道	札幌医科大学附属病院
6	北海道	北海道大学病院
7	北海道	KKR札幌医療センター
8	北海道	旭川医科大学病院
9	青森	弘前大学医学部附属病院
10	岩手	岩手医科大学附属内丸メディカルセンター
11	岩手	京野アートクリニック盛岡
12	宮城	東北大学病院
13	宮城	京野アートクリニック仙台
14	宮城	スズキ記念病院
15	宮城	仙台ARTクリニック
16	秋田	秋田大学医学部附属病院
17	山形	山形大学医学部附属病院
18	山形	ゆめクリニック
19	福島	福島県立医科大学附属病院
20	福島	いわき婦人科
21	茨城	一般財団法人筑波麓仁会 筑波学園病院
22	茨城	筑波大学附属病院
23	茨城	おおぬきARTクリニック水戸
24	栃木	獨協医科大学病院
25	栃木	那須赤十字病院
26	栃木	医療法人三秀会中央クリニック
27	栃木	自治医科大学附属病院
28	栃木	国際医療福祉大学病院
29	群馬	横田マタニティーホスピタル
30	群馬	独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院
31	群馬	群馬大学医学部附属病院
32	群馬	セキールレディースクリニック
33	群馬	医療法人館出張佐藤会 高崎アートクリニック
34	埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター
35	埼玉	埼玉医科大学総合医療センター
36	千葉	医療法人社団緑萌会 高橋ウィメンズクリニック
37	千葉	千葉大学医学部附属病院
38	千葉	東京歯科大学市川総合病院
39	千葉	順天堂大学医学部附属浦安病院
40	千葉	医療法人鉄蕉会 亀田総合病院
41	千葉	医療法人鉄蕉会 亀田IVFクリニック幕張
42	東京	聖路加国際病院
43	東京	東京慈恵医科大学附属病院
44	東京	国家公務員共済組合連合会 虎の門病院
45	東京	医療法人財団順和会 山王病院
46	東京	順天堂大学医学部附属順天堂医院
47	東京	東京医科歯科大学病院
48	東京	日本医科大学付属病院
49	東京	東京大学医学部附属病院
50	東京	医療法人社団生新会 木場公園クリニック
51	東京	昭和大学病院
52	東京	東邦大学医療センター大森病院

NO.	都道府県	医療機関名
53	東京	国立成育医療研究センター 周産期・母性診療センター
54	東京	東京医科大学病院
55	東京	加藤レディースクリニック
56	東京	慶應義塾大学病院
57	東京	東京女子医科大学病院
58	東京	医療法人社団愛慈会 松本レディースクリニック
59	東京	日本大学医学部附属板橋病院
60	東京	虹クリニック
61	東京	杉山産婦人科丸の内
62	東京	京野アートクリニック高輪
63	東京	ローズレディースクリニック
64	東京	はなおかIVFクリニック品川
65	東京	京野アートクリニック品川
66	東京	医療法人オーク会 オーク銀座レディースクリニック
67	東京	リプロダクションクリニック東京
68	東京	杉山産婦人科 新宿
69	東京	浅田レディース品川クリニック
70	神奈川	聖マリアンナ医科大学病院
71	神奈川	北里大学病院
72	神奈川	横浜市立大学附属市民総合医療センター
73	神奈川	社会福祉法人恩賜財団 済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院
74	神奈川	医療法人社団守巧会 矢内原ウィメンズクリニック
75	神奈川	医療法人社団 煌の会 山下湘南夢クリニック
76	神奈川	医療法人社団桐杏会 メディカルパーク横浜
77	山梨	山梨大学医学部附属病院
78	長野	長野赤十字病院
79	長野	南長野医療センター篠ノ井総合病院
80	長野	信州大学医学部附属病院
81	長野	長野市民病院
82	長野	医療法人登誠会諏訪マタニティークリニック
83	静岡	社会福祉法人 聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院
84	静岡	浜松医科大学医学部附属病院
85	静岡	俵IVFクリニック
86	静岡	いながきレディースクリニック
87	静岡	アクトタワークリニック
88	新潟	新潟大学医歯学総合病院
89	新潟	ミアグレースクリニック新潟
90	富山	あいARTクリニック
91	石川	金沢たまごクリニック
92	福井	福井大学医学部附属病院
93	岐阜	岐阜大学医学部附属病院
94	岐阜	医療法人セントポーリア操レディスホスピタル
95	岐阜	クリニックママ
96	岐阜	医療法人愛育会 クリニックママ
97	愛知	日本赤十字社愛知県医療センター名古屋第一病院
98	愛知	名古屋大学医学部附属病院
99	愛知	名古屋市立大学病院
100	愛知	トヨタ記念病院
101	愛知	小牧市民病院
102	愛知	医療法人成田育成会 成田産婦人科
103	愛知	おち夢クリニック名古屋
104	愛知	浅田レディース勝川クリニック
105	愛知	浅田レディース名古屋駅前クリニック

NO.	都道府県	医療機関名
106	愛知	ARTクリニックみらい
107	愛知	まるたARTクリニック
108	愛知	なごやARTクリニック
109	三重	三重大学医学部附属病院
110	滋賀	滋賀医科大学医学部附属病院
111	京都	京都府立医科大学附属病院
112	京都	京都大学医学部附属病院
113	京都	医療法人財団今井会 足立病院
114	京都	医療法人 田村秀子婦人科医院
115	大阪	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター
116	大阪	大阪大学医学部附属病院
117	大阪	大阪医科薬科大学病院
118	大阪	関西医科大学附属病院
119	大阪	近畿大学病院
120	大阪	医療法人定生会 谷口病院
121	大阪	医療法人ウエルビー なかむらレディースクリニック
122	大阪	オーク住吉産婦人科
123	大阪	医療法人 越田クリニック
124	大阪	医療法人三慧会 IVF大阪クリニック
125	大阪	医療法人三慧会 IVFなんばクリニック
126	大阪	社会医療法人生長会 府中のぞみクリニック
127	大阪	医療法人 後藤レディースクリニック
128	大阪	医療法人 リプロダクションクリニック大阪
129	大阪	医療法人三慧会 HORACグランフロント大阪クリニック
130	大阪	医療法人オーク会 オーク梅田レディースクリニック
131	兵庫	兵庫医科大学病院
132	兵庫県	医療法人社団 徐クリニック
133	兵庫	英ウィメンズセントラルファティリティクリニック
134	兵庫	医療法人協和会 第二協立病院
135	奈良	医療法人平治会 ミズクリニックメイワン
136	和歌山	日本赤十字社和歌山医療センター
137	和歌山	うつのみやレディースクリニック
138	鳥取	鳥取県立中央病院
139	鳥取	鳥取大学医学部附属病院
140	鳥取	ミオ・ファティリティ・クリニック
141	島根	島根大学医学部附属病院
142	島根	島根県立中央病院
143	岡山	岡山大学病院
144	岡山	公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
145	岡山	三宅医院
146	岡山	医療法人社団 岡山二人クリニック
147	広島	県立広島病院
148	広島	絹谷産婦人科
149	広島	広島ハートクリニック
150	広島	よしだレディースクリニック内科・小児科
151	山口	徳山中央病院
152	山口	山口県立総合医療センター
153	山口	山口県済生会下関総合病院
154	徳島	徳島大学病院
155	香川	高松赤十字病院
156	香川	医療法人社団厚仁会 厚仁病院
157	愛媛	愛媛大学医学部附属病院
158	愛媛	医療法人 矢野産婦人科

NO.	都道府県	医療機関名
159	高知	高知大学医学部附属病院
160	高知	レディースクリニックコスモス
161	高知	高知医療センター
162	福岡	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院
163	福岡	九州大学病院
164	福岡	久留米大学病院
165	福岡	医療法人社団高邦会 高木病院
166	福岡	医療法人中央レディースクリニック
167	福岡	医療法人アイブイエフ詠田クリニック
168	福岡	医療法人蔵本ウイメンズクリニック
169	福岡	福岡山王病院
170	福岡	日浅レディースクリニック
171	福岡	医療法人鶴生会 MRしょうクリニック
172	福岡	医療法人 原三信病院
173	福岡	医療法人 福岡泌尿器リプロダクションクリニック
174	佐賀	谷口眼科婦人科
175	長崎	長崎大学病院
176	熊本	熊本大学病院
177	熊本	社会医療法人愛育会 福田病院
178	熊本	ART女性クリニック
179	熊本	医療法人社団ソフィア愛育会ソフィアレディースクリニック水道町
180	熊本	医療法人社団 杏風会 川野病院
181	大分	大分大学医学部附属病院
182	大分	医療法人セント・ルカ セント・ルカ産婦人科
183	宮崎	宮崎大学医学部附属病院
184	宮崎	医療社団法人 宮崎エー・アール・ティ ARTレディースクリニック やまうち
185	鹿児島	竹内レディースクリニック
186	鹿児島	医療法人 愛育会 レディースクリニックあいいく
187	鹿児島	松田ウイメンズクリニック
188	鹿児島	あかつきARTクリニック
189	沖縄	友愛医療センター
190	沖縄	琉球大学病院

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
高井泰	卵巣過剰刺激症候群の予防・治療	日本生殖医学会	生殖医療の必修知識2023	杏林舎	東京	2023	447-457
湯村 寧	妊孕性温存療法9精子 (TESEも含む)	柴原浩章・鈴木直	生殖医療フロントラインBOOK 3 がん・生殖医療 がんサバイバーシップ向上を志向して	中外医学社	東京	2023	p138-144
深堀理, 中島貴子	6-2●将来展望 1 新規細胞療法の臨床開発	新井康之	新規細胞療法の臨床開発.CAR-T細胞療法のトリセツ	中外医学社	東京	2023	199-207

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Shimaoka R, Shiga T, Morishige K	Utility of Biomarkers for Postpartum Hemorrhage Transfusion Requirements Relating to Amniotic Fluid Embolism	Clinical and Experimental Obstetrics & Gynecology	50(1)	2	2023
T.Koike, S.Yamamoto, T.Furui, C.Miyazaki, H.Ishikawa and K.-I.Morishige	Evaluation of the Relationship Between Equol Production and the Risk of Locomotive Syndrome in Very Elderly Women	International Journal of Probiotics and Prebiotics	Vol, 18	1-7	2023
Masanori Ono, Miyuki Harada, Akihito Horie, Yidan Dai, Itsuko Horiguchi, Eiji Kikuchi, Fuminori Kimura, Tomoe Koizumi, Mitsuru Komeya, Naoki Mizunuma, Kumiko Oseto, Kuniaki Ota, Chikako Shimizu, Kohei Sugimoto, Seido Takae, Emi Takeuchi, Hirotaka Nishi, Yasushi Yumura, Tatsuro Furui, Yasushi Takai, Ken-Ichirou Morishige, Chie Watanabe, Yutaka, Osuga, Nao Suzuki	Effect of a web-based fertility preservation training program for medical professionals in Japan	International Journal of Clinical Oncology	28(9)	1112-1120	2023

Shigematsu K, Shimizu C, Furui T, Kataoka S, Kawai K, Kishida T, Kuwahara A, Maeda N, Makino A, Mizunuma N, Morishige KI, Nakajima TE, Ota K, Ono M, Shiga N, Tada Y, Takae S, Tamura N, Watanabe C, Yumura Y, Suzuki N, Takai Y.	Current Status and Issues of the Japan Oncofertility Registry.	J Adolesc Young Adult Oncol	12(4)	584-591	2023
鈴木紀子、村瀬紗姫、仲間美奈、二村学、森重健一郎	がん遺伝子パネル検査についての受検患者の意識調査-患者背景の影響	遺伝子医学	45 (Vol. 13, No. 3)	126-134	2023
久保田哲、栗谷佳宏、海野ひかり、隅蔵智子、森重健一郎、松岡圭子、竹村昌彦	片側付属器摘出術後の再発卵巣境界悪性腫瘍に対し、術中採卵を実施した1例-症例報告と文献的考察-	産婦の進歩	第75巻3号	336-343	2023
T. Koizumi, Y. Sugishita, Y. Suzuki-Takahashi, K. Nara, T. Miyagawa, M. Nakajima, K. Sugimoto, M. Futamura, T. Furui, Y. Takai, H. Matsumoto, H. Yamachi, S. Ohno, A. Kataoka, K. Kawai, E. Fukuma, N. Hiroko, K. Tsugawa and N. Suzui.	Oncofertility-related psycho-educational therapy for young adult patients with breast cancer and their partners: Randomized controlled trial	Cancer	129 (16)	2568-2580	2023
T. Maezawa, S. Takae, H. Takeuchi, M. Takenaka, K. Ota, A. Horie, T. Suzuki, Y. Takai, F. Kimura, T. Furui, T. Ikeda and N. Suzuki.	A Nationwide Survey Aimed at Establishing an Appropriate Long-Term Storage and Management System for Fertility Preserving Specimens in Japan.	J Adolesc Young Adult Oncol.	12(3)	450-457	2023
Shimizu C, Furui T, Kataoka S, Kawai K, Kishida T, Kuwahara A, Maeda N, Makino A, Mizunuma N, Morishige K-I, Nakajima T, Ota K, Ono M, Shiga N, Tada Y, Takae S, Tamura N, Watanabe C, Yumura Y, Suzuki N, Takai Y	Current Status and Issues of the Japan Oncofertility Registry.	Journal of Adolescent and Young Adult Oncology	12(4)	584-591	2023
竹中基記、前沢忠志、齋藤愛、坊本佳優、三宅菜月、榎本紗也子、西岡美喜子、松本洋介、伊東雅美、宮崎有美子、松本雅子、大須賀智子、後藤真紀、安藤智子、古井辰郎	東海北陸地方における小児・思春期血液がん患者のがん・生殖相談外来受診状況に対する多機関共同・後ろ向き観察研究	日本小児血液・がん学会雑誌	60(1)	20-26	2023
釣餌咲希、坊本佳優、島岡竜一、竹中基記、古井辰郎	ライフステージの変化に応じサポートを必要とした卵巣がんの一例	AYAがんの医療と支援	4	9-13	2024

古井辰郎、竹中基記	がん・生殖医療ネットワークの意思決定支援機能の質的均てん化とSustainabilityの向上をめざして—Oncofertility Consortium Japanの取り組み—	癌と化学療法	12;50	1253-1259	2023
Kitahara Y, Hiraike O, Ishikawa H, Kugu K, Takai Y, Yoshino O, Ono M, Maekawa R, Ota I, Iwasae A	National survey of abnormal uterine bleeding according to the FIGO classification in Japan	J Obstet Gynaecol Res	49 (1)	321-330	2023
Nakamura E, Matsunaga S, Kikuchi A, Takai Y	Comparative retrospective study on the validity of point-of-care testing device for massive obstetrical hemorrhage: dry hematology vs thromboelastography	Am J Obstet Gynecol MFM	5 (1)	100778	2023
Takeuchi H, Maezawa T, Hagiwara K, Horage Y, Hanada T, Haipeng H, Sakamoto M, Nishioka M, Takayama E, Terada K, Kondo E, Takai Y, Suzuki N, Ikeda T	Investigation of an efficient method of oocyte retrieval by dual stimulation for patients with cancer	Reproductive Medicine and Biology	22 (1)	e12534	2023
Shigematsu K, Mikami Y, Shinsaka M, Kinoshita M, Takai Y	Congenital Phenotypes and DMPK CTG Repeat Number in Mothers/Children with Myotonic Dystrophy Type 1	OBM Genetics	07 (01)	179	2023
高井 泰, 重松 幸佑	新しくなった日本がん・生殖医療システム(JOFR-II)の現状と課題	日本がん・生殖医療学会誌	6 (1)	6-12	2023
高井 泰	【助成金制度下におけるがん・生殖医療の実際】がん・生殖医療 総論 助成金制度がめざすもの	癌と化学療法	50 (12)	1246-1252	2023
高井 泰	Focus On 不妊治療の保険適用による変化	内科	131 (1)	153-160	2023
高井 泰	不妊治療の保険適用による変化 一般不妊治療	母性衛生	63 (4)	学21-学29	2023
黄 海鵬, 高井 泰	不妊治療の保険適用による変化 先進医療編	母性衛生	64 (2)	448-455	2023
黄 海鵬, 高井 泰	不妊治療の保険適用による変化 生殖補助医療編	母性衛生	64 (1)	247-256	2023
竹島徹平、齋藤智樹、荻部樹里衣、黒田晋之介、湯村 寧	男性小児がん患者に対する妊孕性温存療法(カウンセリング・onco-TESEを中心に)	日本がん・生殖医療学会雑誌	7	6-10	2024

Iwahata, Y., Takae, S., Iwahata, H., Matsumoto, K., Hirayama, M., Takita, J., Manabe, A., Cho, Y., Ikeda, T., Maezawa, T., Miyachi, M., Keino, D., Koizumi, T., Mori, T., Shimizu, N., Woodruff, T. K., & Suzuki, N.	Investigation of Fertility Preservation Education Videos for Pediatric Patients Based on International and Historical Survey.	Journal of adolescent and young adult oncology	12(6)	835–842	2023
Miyamoto E, Yoshihara M, Iyoshi S, Mogi K, Uno K, Fujimoto H, Kitami K, Yoshikawa N, Kajiyama H	Factors affecting the long-term prognosis of patients in the AYA generation with epithelial ovarian cancer: A multicenter propensity score matching analysis.	Int J Gynaecol Obstet.	doi: 10.1002/ijgo.15479.	Online ahead of print.	2024
Xu Z, Takahashi N, Harada M, et al.	The Role of Cellular Senescence in Cyclophosphamide-Induced Primary Ovarian Insufficiency	Int J Mol Sci	24(24)	17193	2023
Harada M.	Cellular senescence in the pathogenesis of ovarian dysfunction.	J Obstet Gynaecol Res.	doi: 10.1111/jog.15918.	Online ahead of print	2024
Urata Y, Harada M, Komiya S, et al.	Lifestyle and fertility-specific quality of life affect reproductive outcomes in couples undergoing in vitro fertilization	Front Endocrinol (Lausanne)	15	1346084	2024
前田尚子	小児がん患者におけるがん・生殖医療の現状と課題	癌と化学療法	50巻12号	1264-1268	2023

2024年4月4日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 聖マリアンナ医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 北川 博昭

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性(がん側のアウトカム)と有効性(生殖側のアウトカム)の確立を目指して(21EA2004)
- 研究者名 (所属部署・職名) 産婦人科学・主任教授
(氏名・フリガナ) 鈴木 直・スズキ ナオ
- 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聖マリアンナ医科大学、	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年 5月 2日

厚生労働大臣 殿

機関名 地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪急性期・総合医療センター

所属研究機関長 職名 総長

氏名 嶋津 岳士

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 (所属部署・職名) 生殖医療センター センター長
(氏名・フリガナ) 森重 健一郎 (モリシゲ ケンイチロウ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 6 年 5 月 9 日

厚生労働大臣

殿

機関名 埼玉医科大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 竹内 勤

次の職員の令和 4 年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名 （所属部署・職名）総合医療センター・教授
（氏名・フリガナ）高井 泰 ・ タカイ ヤスシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年4月26日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東海国立大学機構

所属研究機関長 職名 機構長

氏名 松尾 清一

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 2. 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 3. 研究者名 (所属部署・職名) 岐阜大学医学部附属病院・教授
(氏名・フリガナ) 古井 辰郎・フルイ タツロウ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	岐阜大学大学院医学系研究科 医学研究等倫理審査委員会	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する口にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 東京医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 林 由起子

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名（所属部署・職名） 医学部 准教授
 （氏名・フリガナ） 小野 政徳（オノ マサノリ）

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	東京医科大学、聖マリアンナ医科大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する口にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣

殿

機関名 学校法人昭和大学

所属研究機関長 職名 理事長

氏名 小口 勝司

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 （所属部署・職名）保健医療学部・教授
（氏名・フリガナ）渡邊 知映・ワタナベ チェ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年5月7日

厚生労働大臣 殿

機関名 横浜市立大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 石川 義弘

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名（所属部署・職名） 生殖医療センター ・ 准教授
（氏名・フリガナ） 湯村 寧 ・ ユムラ ヤスシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	横浜市立大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・ 該当する口をチェックを入れること。
・ 分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 6 年 5 月 8 日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立研究開発法人
国立国際医療研究センター
所属研究機関長 職名 理事長
氏名 國土 典宏

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 （所属部署・職名）センター病院 乳腺・腫瘍内科・診療科長/医長
兼 がん総合診療センター・センター長
（氏名・フリガナ）清水 千佳子（シミズ チカコ）

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	国立国際医療研究センター・倫理審査委員会	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 6 年 5 月 7 日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東海国立大学機構

所属研究機関長 職 名 名古屋大学医学部附属病院長

氏 名 丸山 彰一

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 （所属部署・職名）名古屋大学医学部附属病院・病院助教
（氏名・フリガナ）片岡 伸介・カタオカ シンスケ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年2月6日

厚生労働大臣
~~(国立医薬品食品衛生研究所長)~~殿
~~(国立保健医療科学院長)~~

機関名 京都府公立大学法人京都府立医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 夜久 均

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 厚生労働行政推進調査事業費補助金 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して（21EA2004）
- 研究者名 （所属部署・職名） 医学研究科・学内講師
（氏名・フリガナ） 宮地 充・ミヤチミツル

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること（指針の名称：）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 横浜市立大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 石川義弘

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 (所属部署・職名) 大学院・医学研究科・教授
(氏名・フリガナ) 山本 哲哉 ・ ヤマモト テツヤ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 慶應義塾大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 伊藤 公平

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名 （所属部署・職名）医学部・専任講師
（氏名・フリガナ）中山 タラント ロバート・ナカヤマ タラント ロバート

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称： ）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査の場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由： ）
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関： ）
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由： ）
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容： ）

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣

殿

機関名 国立大学法人京都大学

所属研究機関長 職名 医学研究科長

氏名 伊佐 正

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名 (所属部署・職名) 医学部附属病院 次世代医療・iPS細胞治療研究センター・教授
(氏名・フリガナ) 中島 貴子・ナカジマ タカコ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

厚生労働大臣

殿

機関名 岡山大学病院

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 那須 保友

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 (所属部署・職名) 岡山大学病院 輸血部 准教授
(氏名・フリガナ) 藤井伸治 (フジイ ノブハル)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する口をチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年4月4日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 聖マリアンナ医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 北川 博昭

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性(がん側のアウトカム)と有効性(生殖側のアウトカム)の確立を目指して(21EA2004)
- 研究者名 (所属部署・職名) 腎泌尿器外科学・主任教授
(氏名・フリガナ) 菊地 栄次・キクチ エイジ
- 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聖マリアンナ医科大学、	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和6年4月26日

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東海国立大学機構

所属研究機関長 職名 名古屋大学大学院医学系研究科長

氏名 木村 宏

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名 (所属部署・職名) 名古屋大学大学院医学系研究科 教授
(氏名・フリガナ) 梶山広明・カジヤマヒロアキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	名古屋大学	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年 5月 1日

厚生労働大臣

殿

機関名 京都大学

所属研究機関長 職名 医学研究科長

氏名 伊佐 正

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 (所属部署・職名) 京都大学医学部附属病院 産婦人科 講師
(氏名・フリガナ) 堀江 昭史・ホリエ アキヒト

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人東京大学

所属研究機関長 職 名 学長

氏 名 藤井 輝夫

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費補助金の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安
全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名 （所属部署・職名） 医学部附属病院・准教授
（氏名・フリガナ） 原田 美由紀・ハラダ ミユキ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 北海道大学
 所属研究機関長 職名 総長
 氏名 寶金 清博

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名 (所属部署・職名) 大学院医学研究院・教授
 (氏名・フリガナ) 真部 淳・マナベ アツシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
 ・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年 5月 1日

厚生労働大臣

殿

機関名 国立大学法人愛媛大学

所属研究機関長 職名 医学部附属病院長

氏名 杉山 隆

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
2. 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
3. 研究者名 (所属部署・職名) 産婦人科 助教
(氏名・フリガナ) 安岡 稔晃 (ヤソオカ トシアキ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項) _____

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 宮崎大学医学部附属病院

所属研究機関長 職名 医学部長

氏名 菱川善隆

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 （所属部署・職名）産婦人科 主任教授
（氏名・フリガナ）桂木真司 カツラギシンジ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 国立大学法人琉球大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 西田 睦

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 1. 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 2. 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 3. 研究者名 (所属部署・職名) 琉球大学病院 周産母子センター・教授
(氏名・フリガナ) 銘苺 桂子 (メカル ケイコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。
(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する口をチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年5月10日

厚生労働大臣

殿

機関名 国立大学法人三重大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 伊藤 正明

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 (所属部署・職名) 医学部附属病院・講師
(氏名・フリガナ) 前沢 忠志・マエザワ タダシ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	三重大学医学部附属病院	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

2024年4月4日

厚生労働大臣
(国立医薬品食品衛生研究所長) 殿
(国立保健医療科学院長)

機関名 聖マリアンナ医科大学

所属研究機関長 職名 学長

氏名 北川 博昭

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性(がん側のアウトカム)と有効性(生殖側のアウトカム)の確立を目指して(21EA2004)
- 研究者名 (所属部署・職名) 産婦人科学・講師
(氏名・フリガナ) 洞下 由記・ホラゲ ユキ
- 倫理審査の状況

	該当性の有無 有 無	左記で該当がある場合のみ記入(※1)		
		審査済み	審査した機関	未審査(※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(※3)	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	聖マリアンナ医科大学、	<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他(特記事項)

(※2) 未審査の場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

令和 6 年 5 月 10日

厚生労働大臣

殿

機関名 独立行政法人国立病院機構
名古屋医療センター

所属研究機関長 職 名 院長

氏 名 小寺 泰弘

次の職員の令和5年度厚生労働科学研究費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究
—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して—
- 研究者名 (所属部署・職名) 小児科・医長
(氏名・フリガナ) 前田 尚子 (マエダ ナオコ)

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入 (※1)		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査 (※2)
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 (※3)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること (指針の名称:)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

(※1) 当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他 (特記事項)

(※2) 未審査に場合は、その理由を記載すること。

(※3) 廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合は委託先機関:)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> (無の場合はその理由:)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> (有の場合はその内容:)

(留意事項) ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

厚生労働大臣 殿

機関名 北海道大学

所属研究機関長 職 名 総長

氏 名 寶金 清博

次の職員の令和5年度厚生労働行政推進調査事業費の調査研究における、倫理審査状況及び利益相反等の管理については以下のとおりです。

- 研究事業名 がん対策推進総合研究事業
- 研究課題名 小児・AYA 世代のがん患者等に対する妊孕性温存療法のエビデンス確立を目指した研究—安全性（がん側のアウトカム）と有効性（生殖側のアウトカム）の確立を目指して
- 研究者名 （所属部署・職名）北海道大学病院・医員
（氏名・フリガナ）寺下 友佳代・テラシタ ユカヨ

4. 倫理審査の状況

	該当性の有無		左記で該当がある場合のみ記入（※1）		
	有	無	審査済み	審査した機関	未審査（※2）
人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（※3）	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
遺伝子治療等臨床研究に関する指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
厚生労働省の所管する実施機関における動物実験等の実施に関する基本指針	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
その他、該当する倫理指針があれば記入すること （指針の名称：)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

（※1）当該研究者が当該研究を実施するに当たり遵守すべき倫理指針に関する倫理委員会の審査が済んでいる場合は、「審査済み」にチェックし一部若しくは全部の審査が完了していない場合は、「未審査」にチェックすること。

その他（特記事項）

（※2）未審査に場合は、その理由を記載すること。

（※3）廃止前の「疫学研究に関する倫理指針」、「臨床研究に関する倫理指針」、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に準拠する場合は、当該項目に記入すること。

5. 厚生労働分野の研究活動における不正行為への対応について

研究倫理教育の受講状況	受講 <input checked="" type="checkbox"/> 未受講 <input type="checkbox"/>
-------------	---

6. 利益相反の管理

当研究機関におけるCOIの管理に関する規定の策定	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究機関におけるCOI委員会設置の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合は委託先機関：)
当研究に係るCOIについての報告・審査の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> （無の場合はその理由：)
当研究に係るCOIについての指導・管理の有無	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> （有の場合はその内容：)

（留意事項） ・該当する□にチェックを入れること。
・分担研究者の所属する機関の長も作成すること。

○名古屋大学における人を対象とする生命科学・医学系研究に関する規程
(平成27年9月15日規程第60号)

改正 平成29年4月26日規程第7号 令和2年8月31日名大規程第94号
令和3年6月30日名大規程第20号 令和3年10月11日名大規程第30号
令和4年4月1日名大規程第4号

(目的)

第1条 名古屋大学（以下「本学」という。）において実施する人を対象とする生命科学・医学系研究に関しては、東海国立大学機構における人を対象とする生命科学・医学系研究に関する規程（令和3年度機構規程第13号）に定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

(定義)

第2条 この規程における用語の定義は、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号。以下「指針」という。）に定めるもののほか、次の各号に定めるところによる。

- 一 部局 名古屋大学教育研究組織規程（平成16年度規程第1号）で定める組織のうち、人を対象とする生命科学・医学系研究を実施する組織をいう。
- 二 部局長 前号に定める部局の長をいう。

(部局長への委任)

第3条 総長は、指針第5の2の（7）の規定に基づき、次に掲げる研究機関の長としての権限又は事務を部局長に委任する。ただし、指針第5の2の（7）を除く。

- 一 指針第5に掲げる研究機関の長の責務等に係る事項
- 二 指針第6に掲げる研究計画書に関する手続に係る事項
- 三 指針第11に掲げる研究に係る適切な対応と報告に係る事項
- 四 指針第13に掲げる研究に係る試料及び情報等の保管に係る事項
- 五 指針第14に掲げるモニタリング及び監査に係る事項
- 六 指針第15に掲げる重篤な有害事象への対応に係る事項
- 七 指針第18に掲げる個人情報保護等に係る事項。この場合において、部局長は、当該部局の保護管理者と連携して、当該事項に関する権限又は事務を行うものとする。

(総長の責務)

第4条 総長は、機構長からの委任を受けて、本学における人を対象とする生命科学・医学系研究について総括し、次に掲げる業務を行うものとする。

- 一 この規程の改廃その他重要事項について、必要な措置を講じること。
- 二 前条により委任した事項の実施状況について、年1回程度点検を行うこと。
- 三 必要に応じて部局長及び研究責任者に対し留意事項、改善事項等の指示を与えること。

(部局長の責務)

第5条 部局長は、当該部局において実施する人を対象とする生命科学・医学系研究に関し、指針に従って総括的な監督、研究実施のための体制及び規則（試料・情報の取扱いに関する事項を含む。）等の整備、研究の許可、文部科学大臣及び厚生労働大臣（以下「大臣」という。）への報告等を行うものとする。

2 部局長は、指針に定める大臣への報告を行うとき、その他必要と認めるときは、その内容等について総長に報告するものとする。

(倫理審査委員会の設置)

第6条 部局に、指針第8章に定める倫理審査委員会を設置するものとする。ただし、複数の部局が必要と認めるときは、当該部局が合同で倫理審査委員会を設置することができる。

2 倫理審査委員会に関し必要な事項は、部局において定める。

(倫理審査委員会への付議)

第7条 研究責任者（多機関共同研究にあつては研究代表者をいう。以下同じ。）は、第3条第2号に基づいて指針第6の2に定める倫理審査委員会への付議を行う際、他機関及び他の部局と共同して実施する人を対象とする生命科学・医学系研究に係る研究計画書については、原則として、研究責任者の所属する部局の倫理審査委員会に一括した審査を求めなければならない。

2 研究責任者は、前条第1項の規定にかかわらず、所属する部局に適切な倫理審査委員会が設置されていない場合は、指針第6の2の(1)に定める審査を他の部局の倫理審査委員会又はその他の指針に定める倫理審査委員会に依頼することができる。

(保有個人情報の開示等に係る請求の取扱い)

第8条 総長は、人を対象とする生命科学・医学系研究の実施に伴って取得され、本学が保有している個人情報に対し、その開示、訂正、利用停止等に係る請求があつた場合は、指針及び東海国立大学機構における保有個人情報の開示等に関する取扱規程（令和2年度機構規程第14号）に基づき取り扱うものとする。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、この規程の実施に際し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規程は、平成27年9月15日から施行し、平成27年4月1日から適用する。

附 則(平成29年4月26日規程第7号)

この規程は、平成29年5月30日から施行する。

附 則(令和2年8月31日名大規程第94号)

この規程は、令和2年9月1日から施行する。

附 則(令和3年6月30日名大規程第20号)

この規程は、令和3年6月30日から施行する。

附 則(令和3年10月11日名大規程第30号)

この規程は、令和3年10月11日から施行する。

附 則(令和4年4月1日名大規程第4号)

この規程は、令和4年4月1日から施行する。